

土木紀行

国内最古級の近代土木遺産（素掘隧道）

ふくうらずいどう 福浦隧道

島根県隠岐郡隠岐の島町



ほっと一息，安らぎの島

隠岐の島町が位置する島後は、島根半島の北東約80kmの海上に位置し、隠岐諸島中最大の島です。隠岐島の西北約157kmには竹島があり、隠岐の島町に属しています。

島の外周は151km（宍道湖外周の約3倍）面積は242.95km²（琵琶湖の約36%）です。面積の約80%を森林が占めています。

島はほぼ円形に近い火山島で、隠岐の最高峰大満寺山^{だいまんじさん}608mを中心に、500m級の山々が連なり、これに源を発する八尾川^{やびがわ}、重栖川^{おもすがわ}流域に平地が開けています。周辺の海岸全域は、大山隠岐国立公園に指定され、雄大な海洋風景や急峻な山並み等が風光明媚な景観を醸し出しています。

地方分権が進む中で、この町の自然と歴史を踏まえて「まるい輪の中，心行き交うやすらぎのまち」を合言葉に掲げ、平成16年10月1日に西郷町

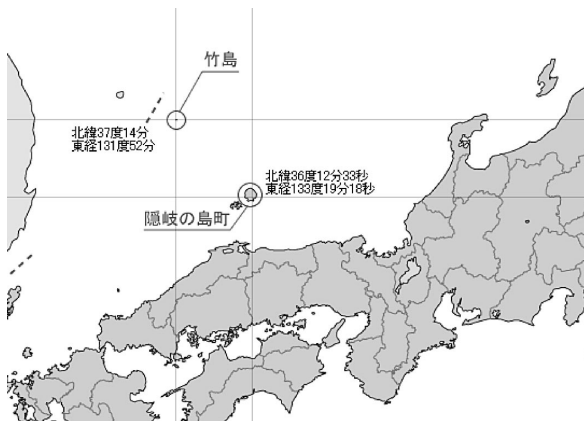


主な観光施設と島内の道路

（旧）布施村（旧）都万村（旧）五箇村（旧）の四町村合併により新生「隠岐の島町」として新たな歴史を力強く刻み始めました。

地域の観光資源 福浦隧道

福浦隧道は、明治期に地形条件の厳しい隠岐の



隠岐の島町に属する竹島の位置関係



福浦隧道（海からの眺望）

島海岸沿いに掘られた二つの素掘トンネルで、自然の風景に見事に溶け込んだ国内最古級の近代土木遺産として、2005年に社団法人土木学会より推奨土木遺産として認定されています。

離島という厳しい自然条件下の中で、集落と集落を結ぶ生活道路として初代は明治初期、二代目は明治31年に完成したもので、鑿^{のみ}や鶴嘴^{つるはし}を用いて手掘りで曲がったトンネルを掘るといった難工事であり、その当時の高い技術力を伺い知ることができる土木施設です。

二代目の隧道は昭和50年の県道改良により拡幅等が行われ若干姿を変えています。また長年の風化により、車両通行止めとなっていますが、歩行者の通行は可能であり、「エコツーリズム」を推進している島の観光資源の一つとして、平成17年から開催されている「隠岐の島ウルトラマラソン」のコースにもなっています。今年は第5回記念大会となり、6月20日の開催に向けて、只今ランナーの皆さまのエントリーを受け付けています。



隠岐の島ウルトラマラソンのコース
（「福浦隧道」左が初代、右が二代目のトンネル）

訪れる人を魅了する島の自然と景観

隠岐島は、北西からの季節風の影響により海岸浸食が発達しており、特異な自然景観を見ることができます。中でも島の北東の沖合約500mに位置する奇岩「ローソク島」は、巨大なローソク状の岩が海面から垂直にそびえ立ち、まるで意図したかのような形状です。夕陽がこの岩の頂点



自然が生んだ芸術品日本海に灯る「ローソク島」

に落ちるその瞬間は、あたかも灯火のように輝き、この名がついたところ。まさに隠岐の自然が創り出した芸術品といえます。観光シーズンには、海上遊覧船が運航されています。

交通アクセス

船を利用される場合（隠岐汽船）

境 港～西郷港 [フェリー] 約4時間(島前経由)

[高速船] 約1時間20分

七類港～西郷港 [フェリー] 約2時間20分

[高速船] 約1時間10分

飛行機を利用される場合

出雲空港～隠岐空港 約30分

伊丹空港～隠岐空港 約1時間

